

第19回 小川北義務教育学校開校準備委員会次第

日 時 令和3年12月16日(木)
午後7時00分～
場 所 小川文化センターアピオス
小ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- ・ 専門部会からの報告
 - (1) P T A部会
 - (2) 総務・通学部会
 - (3) 学校運営部会

4 その他

- ・ 新校舎建築工事等について

5 閉 会

配布資料

- 【資料1】 P T A部会報告
- 【資料2】 総務・通学部会報告
 - 【部会資料1】 通学路内危険箇所
 - 【部会資料2】 危険箇所写真
 - 【部会資料3】 校歌歌詞
 - 【部会資料4】 校歌楽譜
 - 【部会資料5】 校章デザイン
- 【資料3】 学校運営部会報告→当日配布

P T A部会報告

1 開催日時及び出席者数

第6回 令和3年12月2日（木）午後7時～午後8時35分 出席者：12名

2 協議事項

◎家庭教育学級について

家庭教育学級長を学年委員長の充て職とするか、学年委員長とは別に選出するか、検討した。

参考 市内各小学校の家庭教育学級実施学年及び学級長の選出

野田

⇒1学年で実施。学年委員とは別に、家庭教育学級長・副学級長を選出

上吉影・下吉影・小川南・堅倉・羽鳥・納場・竹原・玉里学園

⇒1学年で実施。学年委員長が家庭教育学級長を兼任

<主な意見>

- ・市内各校の現状を参考にし、家庭教育学級は1学年で実施、学級長は学年委員長の兼任とすることで、よいと思う。
- ・副学級長については、学年副委員長が兼任とするのがよい。

<結果>

家庭教育学級は1学年で実施し、学級長・副学級長は、学年委員長・副委員長が兼任する。

◎立哨活動について

開校後の立哨活動について、P T A活動の一環として実施するのか、各地区の自主的な活動として実施有無は地区に委ねるか、検討した。検討にあたっては、下記の立哨活動実施状況や、保護者より挙げた通学路内危険箇所（部会資料1・2）を参考とした。

参考 市内各小学校の立哨活動実施状況

学校名	実施状況
小川南	地域に任せている。
堅倉	P T A活動の一環として、月1回程度行っている。（校外指導委員会）
羽鳥	子供会単位で決めている。
納場	地域に任せている。（見守り隊）
竹原	地域のボランティア（数名）で行っている。
玉里学園	P T A活動の一環として行っている。（地区委員会）
野田	P T A活動の一環として、学校から期間を定めて地区委員に依頼。
上吉影	通常は地域に任せている。 学期1回の立哨をP T A（生活指導委員会）で主催している。
下吉影	学期に1回、地域（子ども会）で実施している。

<主な意見>

- ・PTA活動の一環としてもよいと思う。地区や子ども会に任せた方がスムーズに行くとは思いますが、役員としても実施した方がよいのではないかと。
- ・PTAとしてではなく、それぞれの地区に任せた方がよい。朝忙しい時も地区内であれば行うことができるが、それよりも遠い所まで行くととなると、難しい。
- ・子ども会かPTA、どちらかが主体となり行うのであれば、子ども会に任せた方がよい。
- ・立哨を行うとしても、日々の安全は地域の方が見守ることとし、PTAでは年に1回、危険箇所の点検を行う程度がよい。

<結果>

立哨活動の実施については、PTA活動の一環とせず、各地区に委ねることとする。
(新しいPTA規約には、地区委員会の活動として「交通安全指導」という文言があるが、除くこととする。)

◎地区委員の決め方について

地区委員会＝各地区1名。委員の選出をどのように行うか。

<主な意見>

- ・野田では、子ども会によっては、小中で交流がない地区がある。中学生がいないために子ども会がなくなるところもある。(野田本田)
- ・下吉影は子ども会が小中一緒であるが、小学生がいない地区がある(百里自営)。
- ・上吉影も、小中で交流がない地区はある。
- ・小中どちらかに限定してしまうと、候補者がいない場合が考えられるので、小中合わせた中から、1名選ぶという形がよい。
- ・各地区で決め方はそれぞれでよい。地区によっては、子ども会を集めて決めてもよいと思う。ただし、初年度の委員を決めるため依頼するのは、中学校の常任委員がよい。

<結果>

地区委員は、小・中合わせた中から1名選出することとする。

◎開校初年度の役員の決め方について

これまでの決定事項では、役員の決め方について、以下のとおりとしていた。

○役員の決め方

役員は、各学年より選出(会長：8年 副会長：6・7年 書記：5年 会計：4年 監事：1・9年 女ネット：2・3年)

○開校初年度の役員

学年	決め方	役職
9	中学校で決める	監事
8	中学校で決める	会長
7	小学校で決める(上吉影小)	副会長
6	小学校で決める(下吉影小)	
5	小学校で決める(下吉影小)	書記
4	小学校で決める(上吉影小)	会計
3	小学校で決める(野田小)	女ネット
2	小学校で決める(野田小)	
1	新入学児説明会で決める	監事

※副会長・書記・会計・女ネットについては、現在の1～6学年であり、統合前の3校が集まって決める機会がないため、事前に各小学校に割り振り、各校において決める。(割り振りは抽選で決定)

この決定事項に関して、以下のとおり意見が挙がったため、検討を行った。

開校初年度の会長については地区の割り振りはしていなかったが、副会長については下吉影・上吉影から各1名出すことになっている。もし、会長・副会長が共に下吉影となった場合、地区の偏りが出てしまう。

そのため、案として、下吉影から会長が選ばれた場合、副会長1名は野田から選ぶということにできないか。また、副会長を下吉影から選び、会長は野田から選ぶという案や、下吉影から会長・副会長が選ばれた場合、令和5・6年に会長・副会長免除となる案はどうだろうか。

<主な意見>

- ・下吉影に限った話でなく、上吉影から会長が選ばれた場合も、同様の状況になる。
- ・割り振りは抽選で決めたことであるため、変えるのは難しい。
- ・令和5年度からは地区関係なく学年で選ぶことになり、同じ地区から選ばれることが重なる可能性はあるのだから、現状の決め方でよいと思う。
- ・野田では学年委員長を決めるのも大変だったので、急に会長を決めるとなっても、難しい。また、野田は人数が多いので、今後、全ての役員が野田になるという可能性もあり得るが、そういった可能性まで考慮していくのは、きりがないと思う。

<結果>

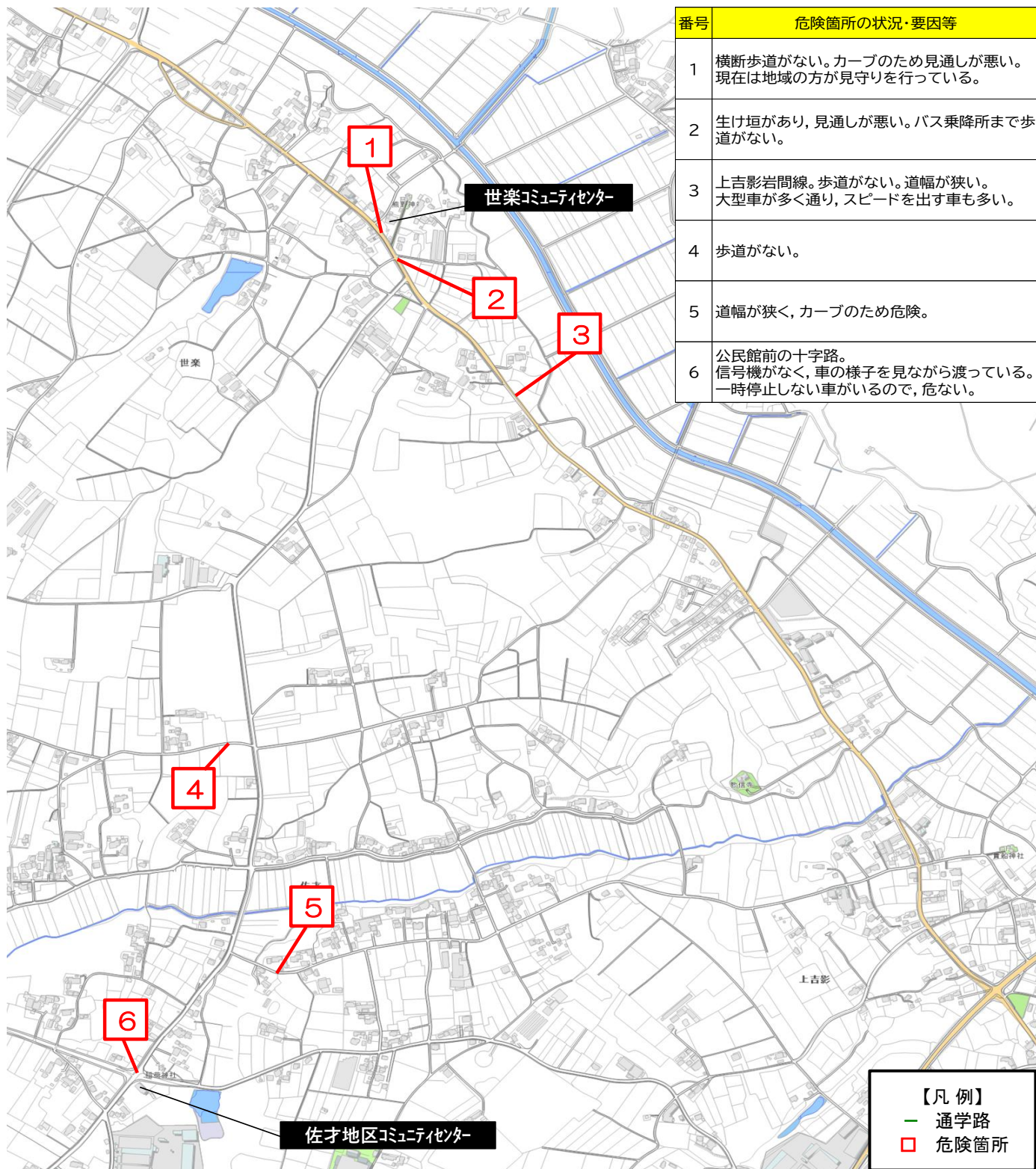
開校初年度の役員の決め方については、変更せず、これまでの決定事項のとおりとする。

番号	危険箇所の状況・要因等	対応策案		対応可能時期		
		区分	関係機関	内容	開校まで	開校以降
1	信号・横断歩道はあるが、学校前の横断歩道のため、先生の立哨もお願いしたい。	指導	学校	学校における立哨指導	●	
2	交差点のため、横断歩道を横断中に、右左折車が通る。横断旗・立哨が必要。	指導	教育委員会	横断旗の設置、安全指導	●	
3	茨城空港アクセス道路。緩やかではあるがカーブがあり時速70km超の交通往来。	指導	防災管理課	注意喚起看板の設置	●	
4	横断歩道・信号がない。立哨が必要。	整備	①石岡警察署 ②教育委員会	①横断歩道の設置 ②横断旗の設置		●
5	横断歩道がない。	指導	①教育委員会 ②学校、PTA	①横断旗の設置(官舎側に向けて設置) ②通学路の検討	●	
6	歩道がなく、車のすれ違いはギリギリ。アクセス道路への抜け道として車の量が増えたと感じている。	指導	学校	学校による安全指導の徹底、通学路変更の検討	●	●
7	トヨベツ前。トラック等の急な右左折	指導	学校	学校による安全指導の徹底、通学路変更の検討	●	●
8	山川コミュニティセンター入口前十字路口。信号がなく交通量が多い。再三の左右確認、大人が居られる場合は一緒に安全確認をしている。	整備	石岡警察署	横断歩道の引き直し		●
9	100m～200m歩道がない。エコスに向かう途中からは歩道があるので大丈夫だが、歩道がない所は車が通ると危ない。	整備	管理課	グリーンベルトの設置		●
10	歩道がないので危険。	指導	学校	学校による安全指導の徹底、通学路変更の検討	●	●

通学路内危険箇所（野田）

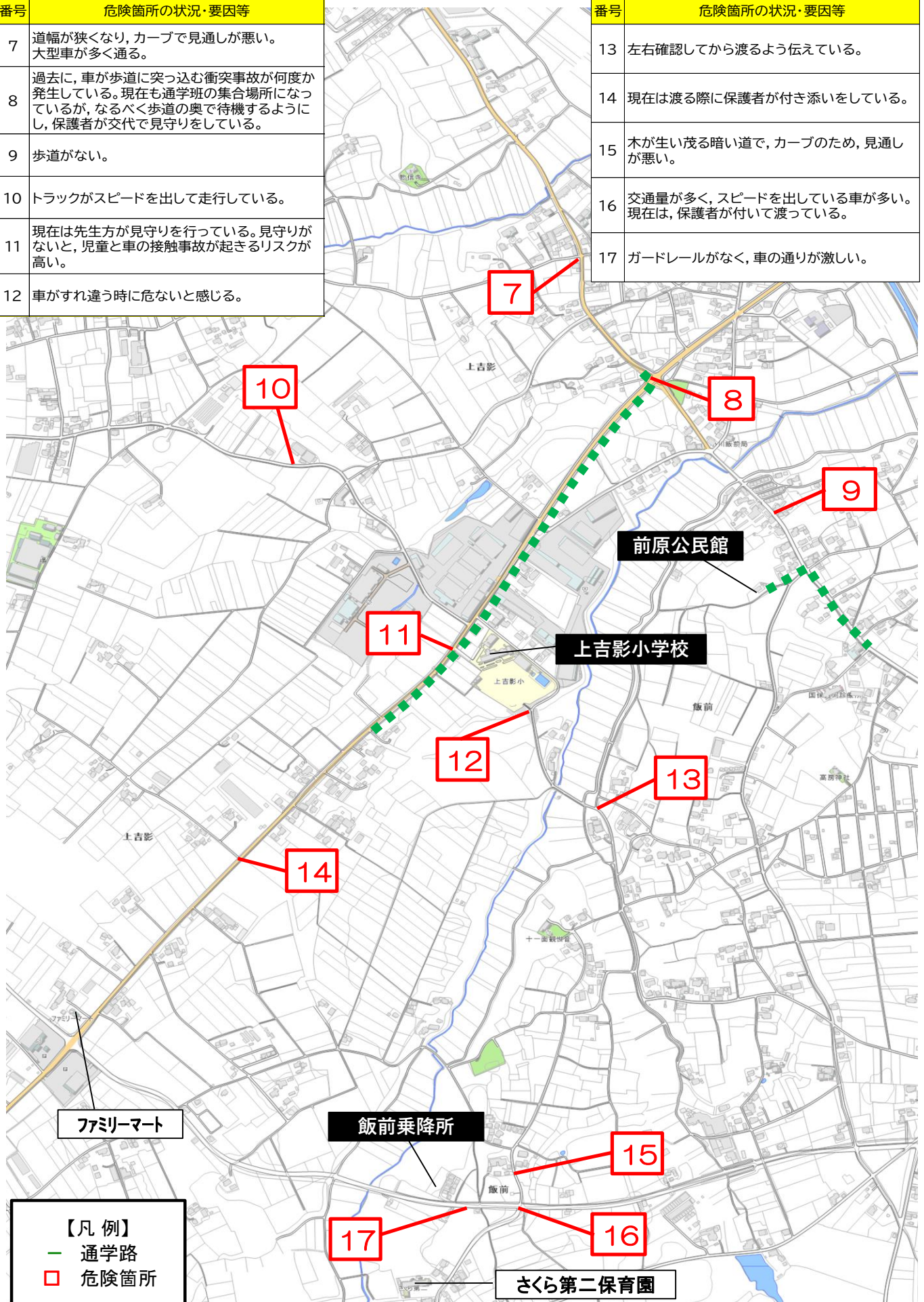
部会資料1-1





番号	危険箇所の状況・要因等
7	道幅が狭くなり、カーブで見通しが悪い。大型車が多く通る。
8	過去に、車が歩道に突っ込む衝突事故が何度か発生している。現在も通学班の集合場所になっているが、なるべく歩道の奥で待機するようにし、保護者が交代で見守りを行っている。
9	歩道がない。
10	トラックがスピードを出して走行している。
11	現在は先生方が見守りを行っている。見守りがなければ、児童と車の接触事故が起きるリスクが高い。
12	車がすれ違う時に危ないと感じる。

番号	危険箇所の状況・要因等
13	左右確認してから渡るよう伝えている。
14	現在は渡る際に保護者が付き添いを行っている。
15	木が生い茂る暗い道で、カーブのため、見通しが悪い。
16	交通量が多く、スピードを出している車が多い。現在は、保護者が付いて渡っている。
17	ガードレールがなく、車の通りが激しい。

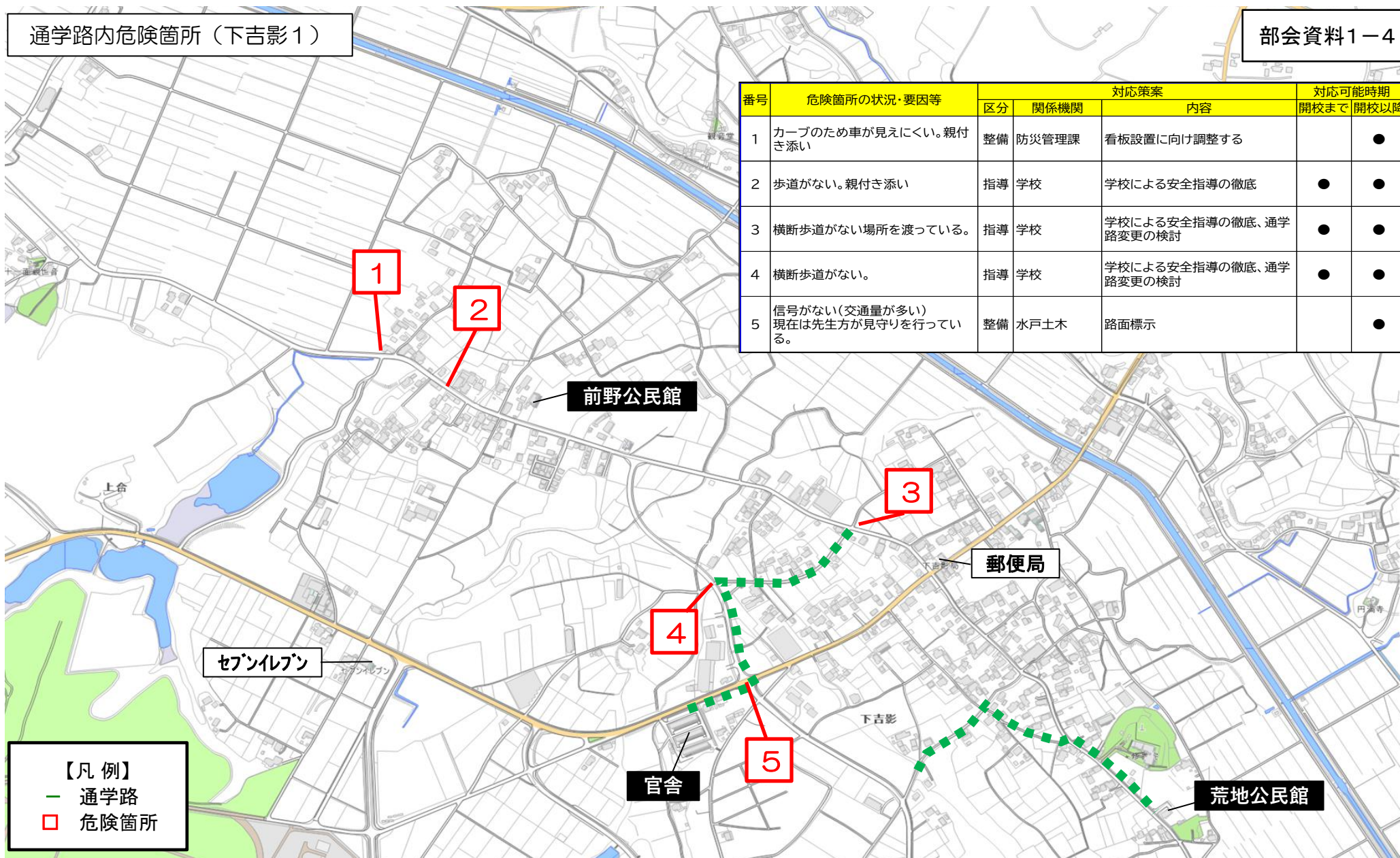


【凡例】
 - 通学路
 □ 危険箇所

通学路内危険箇所（下吉影1）

部会資料1-4

番号	危険箇所の状況・要因等	対応策案		対応可能時期		
		区分	関係機関	内容	開校まで	開校以降
1	カーブのため車が見えにくい。親付き添い	整備	防災管理課	看板設置に向け調整する		●
2	歩道がない。親付き添い	指導	学校	学校による安全指導の徹底	●	●
3	横断歩道がない場所を渡っている。	指導	学校	学校による安全指導の徹底、通学路変更の検討	●	●
4	横断歩道がない。	指導	学校	学校による安全指導の徹底、通学路変更の検討	●	●
5	信号がない(交通量が多い) 現在は先生方が見守りを行っている。	整備	水戸土木	路面標示		●



【凡例】

- 通学路
- 危険箇所

通学路内危険箇所（下吉影2）

部会資料
1-5



番号	危険箇所の状況・要因等	対応策案			対応可能時期	
		区分	関係機関	内容	開校まで	開校以降
6	見通しが悪く、通勤時間帯になるため車の通りが多い。スピードを出す車も多い。大型車も通る。	指導	学校	学校による安全指導の徹底	●	●
7	歩道はあるが大型トラックやダンパーの通りが激しい。	指導	学校	学校による安全指導の徹底、通学路変更の検討	●	●
8	古新田公民館前の横断歩道を2カ所渡る。	整備	①防災管理課 ②管理課	①看板設置に向け調整する ②路面標示		●



【凡例】

- 通学路
- 危険箇所

危険箇所写真

<野田>

1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



危険箇所写真

<上吉影>

1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



危険箇所写真

<下吉影>

1



2



3



4



5



6



7



8



総務・通学部会報告

1 開催日時及び出席者数

第10回 令和3年12月9日（水）午後7時～午後7時45分 出席者：9名（欠席者：2名）

2 協議事項

(1) 通学体制

保護者より挙がっている通学路内の危険箇所とその対策案について、部会資料1・2を基に、確認を行った。

<主な意見>

- ・野田の危険箇所6・7番の対応策として、通学路の変更とあるが、この道を通らずに通学することは可能だろうか。
- ・今のところ、6番の道を通る児童については、朝は保護者の方が交代で送り、帰りは保護者が迎えに来るか、徒歩で帰ることになる予定であり、通学路変更はないと思われる。7番については、現在もこの道を通って通学している児童がおり、毎日ではないが保護者にも協力いただき安全確認しながら通っているため、変更しない方がよいと思われる。安全確保しながら現状維持というのが、一番よいかと思う。
- ・実際に歩いてみないと分からない部分もあるので、開校してから通学路を変更することも考えられる。
- ・茨城空港アクセス道路には、街灯がほとんどないので、設置していただけないだろうか。中学生が真っ暗な中下校している状況である。
- ・防犯灯は、地区からの要望を受け、設置するものである。
- ・自分の住んでいる地区以外の所についても要望するというわけにはいかないもので、より安全な通学に向け、市から働きかけていただければと思う。通学路が変わって事故が起きるといのは防ぎたい。
- ・今後、立哨活動については、各地区から担当を出し合って、児童が集中する箇所は、交代で行うことも考えられるが、その取りまとめは学校にしていだけるのか。
- ・立哨については、PTA部会において、PTA活動の一環として行うか、あるいは各地区の活動として地区に委ねるか検討したところ、PTAで取りまとめるよりも地区や子ども会に任せの方がスムーズであること等から、PTA活動の一環としては位置付けず、地区に委ねるとい結果になった。
- ・PTA・地区委員としては行わないとなると、具体的にはどこが主体となるのか。
- ・立哨の実施については地区によって異なる部分もあると思われるので、PTA部会では、具体的な実施形態までは検討しなかった。

- ・小川北中では、学校運営協議会を通して地区に立哨について依頼することを考えている。
- ・保護者の中には、地区（行政区）に入っていない者もいる。
- ・開校までに体制を整えられるよう、保護者や地域等と調整を図りたいと思う。
- ・上吉影小前の道を渡る児童がいるが、スピードを出す車や大型車が多く、心配ではある。今のところは学校で見守りを行っているが、今後の対応については乗降所を利用する保護者によく考えていただければと思う。
- ・下吉影小学区では、荒地公民館前の道は、歩道が設けられているが、狭いので危ないという話がある。今後、地区の方々と話し合いをする機会に、学校から立哨について話したいと考えている。
- ・危険箇所の中には信号がないというところもあるが、要望してすぐ設置されるものではない。時間をかけて要望していく必要があるかと思う。

<結果>

- ・通学路の危険箇所対策については、資料のとおり進める。

(2) 校歌

校歌の歌詞について、部会資料3を基に、作詞者：クロダセイイチ氏に修正していただいた歌詞の確認を行った。また、作曲者：田川めぐみ氏に制作していただいた楽曲（楽譜：部会資料4）について、試聴した上で、検討を行った。

<主な意見>

- ・部会で聴いていただくのはプロの歌入りであるが、16日の準備委員会では、下吉影小学校の児童に歌っていただいたものも聴いていただく予定である。
- ・曲については、クロダ氏にも確認していただいているのか。
- ・作詞作曲者同士で連絡を取り合いながら進めており、クロダ氏にも確認いただいている。
- ・やや長い曲だと思うので、曲全体を歌わずとも、1番と、最後の「過ぎたふるさと」からの三行だけを歌うのもよいと思う。
- ・現在、下吉影小学校の児童に練習していただいているが、1番だけを歌う場合でも、1番と「過ぎたふるさと」以降だけを歌う場合でも、どちらも違和感はないと思う。場合によって歌い分けることができると思う。今までの校歌に比べると大人っぽいメロディではあるが、なめらかに音が動いており、急に音が上がったり下がったりしないため、児童にとっても比較的歌いやすいようである。

<結果>

- ・校歌の修正歌詞及び曲については、部会資料3・4の通りとする。

(3) 校章

部会資料5を基に、デザイン事業者補正後の校章デザインについて、確認を行った。

<主な意見>

- ・校章は、どのようなものに使用するのか。
- ・新校舎入口の外壁や、体育館の一文字幕、学校旗等に使用する。
- ・中央の「学」という字が、現在は使わない旧字体であるが、児童には難しいようにも思う。
- ・デザインとしての見栄えを考慮し旧字体にしているものと思われる。

校歌歌詞

修正前

(第18回準備委員会資料より)

ひばり飛び立つ 朝焼けに
 つくば やま はる つ
 筑波の山が 春を告ぐ
 かき ひび せ お
 重ねた日々に 背を押され
 か ことば ひかりま
 交わした言葉 光舞う
 まよ すだ
 迷いもたずさえ 巣立つとき
 みらい とも おがわきた
 未来を灯す 小川北
 きぼう かえ ぼしよ
 まばゆい希望 帰る場所
 うめさ ほこ はくじつ
 梅咲き誇る 白日に
 よ はるかぜ あした
 呼ぶは春風 明日へと
 みは せき
 こぼれて見果つ その先に
 しれん こ
 試練のときが 来ようとも
 おも むね だ
 あなたの想いを 胸に抱き
 つづ おがわきた
 いつかに続く 小川北
 けっい かね な ひび
 決意の鐘が 鳴り響く
 す おも
 過ぎしたふるさと 思うたび
 かがや おがわきた
 いのち輝く 小川北
 よあ こ かえ ぼしよ
 夜明けを越えて 帰る場所

修正後

……言葉を変更した箇所

ひばり飛び立つ 朝焼けに
 つくば やま はる つ
 筑波の山が 春を告ぐ
 かき ひび せ お
 重ねた日々に 背を押され
 か ことば ひかりま
 交わした言葉 光舞う
 まよ すだ
 迷いもたずさえ 巣立つとき
 みらい とも おがわきた
 未来を灯す 小川北
 きぼう ぞだ ぼしよ
 まばゆい希望 育つ場所
 うめさ ほこ はくじつ
 梅咲き誇る 白日に
 よ はるかぜ あした
 呼ぶは春風 明日へと
 みは せき
 こぼれて見果つ その先に
 しれん こ
 試練のときが 来ようとも
 おも むね だ
 あなたの想いを 胸に抱き
 つづ おがわきた
 いつかに続く 小川北
 けっい かね な ひび
 決意の鐘が 鳴り響く
 す おも
 過ぎしたふるさと 思うたび
 かがや おがわきた
 いのち輝く 小川北
 よあ こ ぼしよ
 夜明けを越えて 誇る場所

ver.0

小川北義務教育学校 校歌

作詞 クロダセイイチ

作曲 田川めぐみ

mf F Faug B \flat F/A C F

ひ ぼ り と び た つ あ さ や け に つ く ぼ
 め さ き ほ こ る は く じ つ に よ ぶ は

C /B \flat F/A Dm Gm7 G7 Gm/C C

の や ま が は る を つ ぐ か
 は る か ぜ あ し た へ と こ

F Faug B \flat F/A C F

さ ね た ひ び に せ を お さ れ か わ し
 ぼ れ て み は つ そ の さ き に し れ ん

F/A Aaug Dm /C B \flat C7 F

た こ と ぼ ひ か り ま う
 の と き が こ よ う ぐ と も

Am Dm B \flat Bm7(b5)

ま よ い も た ず さ え す だ つ と き み ら
 あ な た の お も い を む ね に だ き い つ

F/C D7 *f* Gm B \flat m

い を と も す お が わ き た ま ば ゆ い き
 か に つ づ く お が わ き た け つ い の か

F/A Aaug B \flat C7 1. F Gm7 C *mf*

ぼ う そ だ つ ぼ し ょ
 ね が な り ひ び う

小川北義務教育学校 校歌

2. F B \flat *mf* F/A D Gm7
く すごした ふ る さと おも う た

Bm7(\flat 5) F/C D7 *f* Gm
び いの ちか が や く おが わ き た

B \flat m F/A Aaug B \flat C7 F
よ あけを こ え て ほこる ばしよ

◎歌詞修正部分について（作詞者：クロダセイイチ氏より）

大変お世話になっております。
Genius P.J's/Super Squall クロダセイイチです。
年末のお忙しい中貴重なお時間を頂き校歌に関してご意見を頂き誠にありがとうございます。
前回の会議でご意見を頂きました2ヶ所ある“帰る場所”という言葉を両方変更させて頂きました。

<修正点>

1番最後の“帰る場所”→“育つ場所”
児童たちの成長や希望、未来への想いが育つ場所になって欲しいという想いを込めてこの言葉を選びました。

楽曲最後の“帰る場所”→“誇る場所”
児童たちが小川北義務教育学校での日々や、5年後、10年後経った後でも小川北という場所や時間が誇れるものになるように過ごして欲しいという気持ちをこの言葉に込めました。

両方とも以前の言葉より明るくひかり輝くものになったと感じております。
田川さんが作曲して下さった曲もとても希望のある音になっているとわたしは感じました。
改めて皆様の色々なご意見ご感想誠にありがとうございました。

引き続きどうぞよろしくお願い致します。

Genius P.J's/Super Squall

クロダセイイチ

◎楽曲について（作曲者：田川めぐみ氏より）

[作曲]制作にあたって

基本的には歌詞の発音や、言葉の推進力によって、自然で歌いやすい旋律を心がけました。
また主に、以下の項目を意識し制作しています。

1. 歌唱の難易度

小学1年生～中学3年生の計9年間ということで、声帯も感性も大きくするこの時期に、ある程度の楽曲としての歌い応えと、どの成長過程、性別でも歌える音域を重視しました。
→音域C4～D5、跳躍の頻度

2. 構成（楽曲サイズ）

近年、時間や様々な環境下、制限のあるなか汎用性を高く持てる構成を考えました。
→全体尺 約3'00''
1番のみの歌唱 約1'25''
1番+コーダ部分 約1'55''等、場面に合わせて演奏できる。

3. 印象に残る旋律

将来大人になって、学校時代を思い出す際、学校名とリンクし、「小川北」の旋律を思い出してほしいという願いも込め、とくに印象に残る旋律を心がけました。
→「小川北」という言葉の強調。楽曲の頂点、最高音域。

4. 楽曲スタイル

あくまで今の時代に開校する新しい学校ということで、今の子どもたちに親しみやすいスタイル（但し、一時的な流行りではなく、長く親しまれる）を心がけました。
→歌詞の構成による和音の移り変わり、言葉のリズム等

以上どうぞよろしくお願い致します。

田川めぐみ

<応募原案>



<デザイン事業者補正版>



<原案制作者>

山本 洋平 さん(小川北学区出身・在住)

<デザイン説明>

野田・上吉影・下吉影の3地区の輪を、3枚の花弁を持つ花により表現しています。輪の中の「小」「川」「北」と中央の「學」の文字は、学校名を表しています。統合によって地域の輪が1つになり、児童生徒が一丸となって切磋琢磨することで、地域に新たな花を咲かせ、新しい歴史を創り上げてほしいという想いが込められています。また、基調色は、緑豊かな小川北の自然や、児童生徒の若々しさをイメージし、緑色としております。

学校運営部会報告

【教頭部会】

- ・今後の予定の確認と役割分担
- 1 2月：時間割作成，校務分掌，服務規程，プレ登校実施計画
- 1 月：式典文書作成，備品運搬協力依頼文書作成，プレ登校バス手配
- 2 月：新入児用通学班名簿入力，備品等搬出入詳細計画作成
- 3 月：プレ登校保護者案内文書作成，内覧計画の作成等

【教務主任部会】

- ・各学年遠足場所とバス会社の決定
- ・各教科年間指導計画の割り振りと立案
- ※日課表の再検討
- ※総合的な学習の時間の内容と年間指導計画の再検討
- ※は2学期制導入に伴い再検討中

【養護教諭部会】

- ・清掃用具個数確認，購入希望品の決定
- ・就学時健康診断時の準備と実施
- ・新入生保護者説明会配付物の確認と作成
- ・避難訓練，安全点検の計画作成中
- ・性教育年間指導計画作成中

【事務職員部会】

- ・文書保管について
- ・学校徴収金について（進行中）
- ・購入品の検討，分担
- ・予算要望（済）
- ・新入生保護者説明会文書作成

小川北義務教育学校グランドデザイン案

本県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う

郷土を愛し
協力しあう心を育てる

校 訓

力をつけよう 心をみがこう 気力をもとう

本市の教育目標

確かな学力と
たくましい体を持ち
郷土を愛する
こころ豊かな 人づくり

本市の教育理念

夢と希望を抱き
自らの明日を切り拓く
人づくり

学校教育目標

温かい心で人と関わり、未来を切り開く
たくましい児童・生徒の育成

目指す学校像

- 児童・生徒が主体的に楽しく学ぶ学校
- 地域から信頼される魅力ある学校
- 教師がやりがいを感じる学校

目指す児童生徒像

- 学び合い磨き合い高め合う児童・生徒
- 心豊かで一生懸命取り組む児童・生徒
- 活力がありたくましい児童・生徒

目指す教師像

- 児童・生徒とともにある人間性豊かな教師
- 教育への情熱と使命感をもつ教師
- 信頼され、時代の要請に応える教師

9年間を見通した学びの継続・特色ある教育

*教科担任制と学び合いを核とした学習指導

- ・教職員の交流による一貫教育の推進
- ・さまざまな場面でのICTの積極的活用
- ・温かな人間関係・思いやりの心の育成

*体験を重視した創意ある教育活動の推進

- ・児童・生徒の思いを生かした地域貢献活動
- ・異学年交流を生かした教育活動の充実
- ・地域と連携した人的・物的資源の積極的活用

【知】 学び合う学校

* 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

< 重点施策 >

- 教科担任制の活用
 - ・前期課程からの段階的教科担任制の導入
 - ・専門性を生かした魅力ある授業の展開
- 学び合いを取り入れた協働学習の実践
 - ・授業スタイルや学習規律の共通実践
 - ・学習意欲を喚起する課題設定の工夫
 - ・自分の考えや思いを交流する場の設定
 - ・振り返りによる学びの定着
 - ・話し合い活動の工夫
- ICT教育の推進
 - ・思考を助ける手立てとなるICT活用
 - ・学習ツールとしてのICT活用
 - ・タブレットでの個別最適な学びの追究
 - ・プレゼンテーション力の養成

【徳】 磨き合う学校

* 思いやりの心を持ち、互いのよさを認め合える集団づくり

< 重点施策 >

- 異学年交流を生かした魅力ある教育活動
 - ・生徒会が企画・運営する縦割り班遊びの実践
 - ・前期課程の縦割り班清掃の実践
 - ・9学年合同学校行事の実践
- 自己有用感育成を図る特別活動の展開
 - ・創意ある表現活動の実践
 - ・主体的な生徒会活動の実践
 - ・リーダー学年を意識した活躍の場の設定
 - ・前期課程修了式の実施
 - ・発達段階に応じた地域貢献活動の実践
- 一人一人を大切にする教育の推進
 - ・考え議論する道徳の授業の実践
 - ・人権フォーラム・思いやり集会の実施
 - ・マナーアップ運動の展開
 - ・合意形成のための話し合い活動の工夫

【体】 高め合う学校

* 健康で安全な生活のための生活習慣・運動習慣づくり

< 重点施策 >

- 系統的な健康教育の実践
 - ・発達段階に応じた歯磨き指導
 - ・がん教育・薬物乱用防止教室の実施
 - ・性教育・生きる教育の推進
 - ・「早寝早起き朝ご飯」の生活習慣の確立
 - ・栄養教諭と連携した食育の実践
- 体力向上に向けた取組
 - ・体力アップ月間の設定
 - ・体育の授業での補強運動の継続
 - ・縦割り班での体力アップメニューの工夫
- 自己管理能力の育成を目指した健康・安全教育の推進
 - ・危機管理能力を育てる避難訓練の実施
 - ・交通安全教室・防犯教室の開催
 - ・生きる教育・命の授業の実施
 - ・情報モラル教室の開催
- 地域と一体となった安心・安全な環境づくり
 - ・危機意識をもった安全点検の実施
 - ・保護者・地域コミュニティと連携した登下校の見守り
 - ・計画的な教育相談体制の確立
 - ・感染症予防の生活様式の実践

前期 (1~4年)

自分や友達
のよさを見つけ、
交友を広げ助け
合える児童

夢をもつ
【自己認識期】

中期 (5~7年)

積極的に地域と
関わり、
よりよい生き方
を考える児童生徒

希望を掲げる
【自己育成期】

後期 (8・9年)

未来を見据え、
自己確立を目指す
生徒

大志を抱く
【自己確立期】

地域と一体となった学校づくり

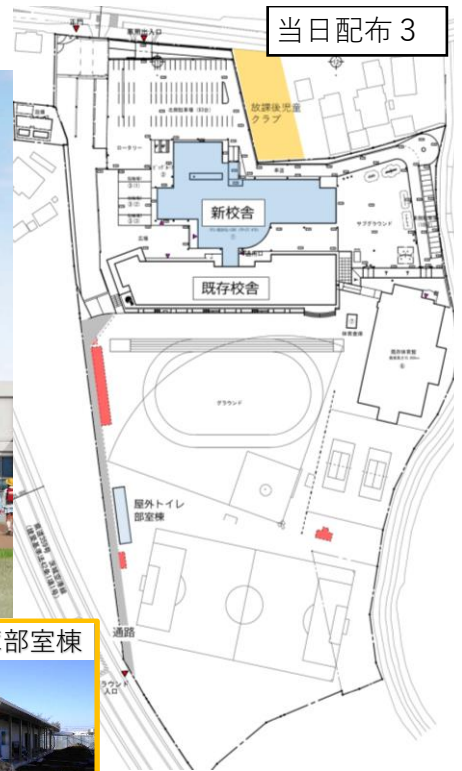
教職員の資質向上の取組

職場環境の整備

小川北義務教育学校校舎建設工事 進捗状況

新校舎の外装工事は、ほぼ完了し、現在は、家具や建具などの内装工事、また、付属建物のピックル7や駐輪場、外構工事を進めています。(11月末現在進捗率：84.4%)

校舎側面には、小川北中学校学芸部のデザインの協力により、「個性・若さ・躍動感」をテーマとした、陶板壁画を施します。



当日配布 3



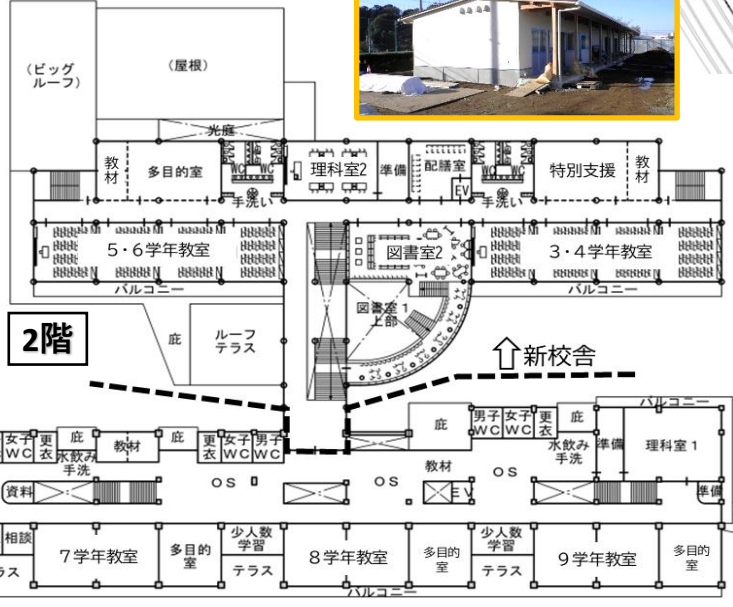
2F パルコニー



2F 渡り廊下



屋外トイレ・倉庫部室棟



2F 廊下



学年教室



図書室



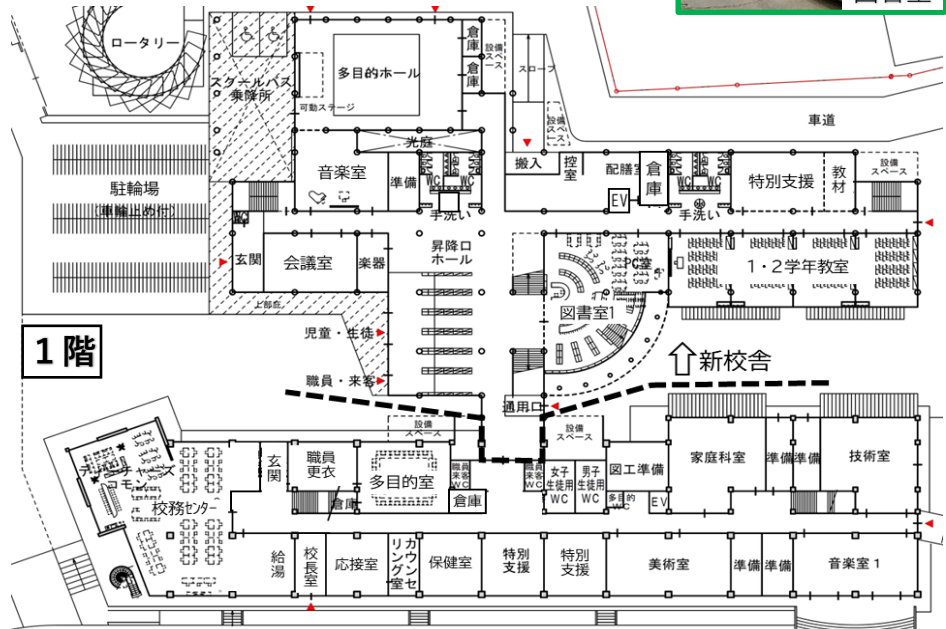
校舎全景



昇降口



校務センター



令和3年度 中学生の「税についての作文」
国税庁長官賞受賞

窓の向こうに広がる税

小美玉市立小川北中学校3年 金子 愛依

「あそこが昇降口になるのかな。」

私が通う中学校の窓からは、建設中の新校舎が見える。来春から市内の小学校が合併し、中学校の敷地内で義務教育学校として歩み出すためだ。つい最近、整地が終わったと思ったら、現在は鉄筋がずらりと並び、コンクリート工事が始まっている。私はそのスピードと工程の多さに驚きながら、形になっていく校舎を見るのが楽しみになっていた。残念なのは、完成すると同時に卒業を迎える私は、新たにスタートする学校で学べないことだ。

これまで、校舎がどんな基準で造られ、鉄筋がどれだけ使われているのかなど、考えて生活したことはなかった。ただ、多くの関係者が携わり、大量の資材と細かな作業を見れば、莫大な費用がかかっていることは私にも想像できた。しかしその費用を生徒が払っているわけではない。税金で賄われていると知り、学校が建つ過程を一から見れたことは、とても貴重で、私に税の有り難みを考える良い機会を与えてくれた。

それだけではない。教室を見渡せば、教科書や机など身近にあるものから、学校生活に必要な光熱費にも税金が使われていた。今年からGIGAスクール構造で導入された一人一台タブレット端末や電子黒板も、私達の学習意欲を高め、より充実した授業が受けられる様、将来に期待を込めてくれている。実際に積極的に意見交換をし、自ら調べ学習に取り組む生徒が増え、勉強が楽しいと思える場面が多くなった。自宅でもパソコンやタブレットは使用しているが、決して安い値段ではない。では一体どれ位の税金が教育に使われているのだろう。気になって調べてみると、公立の小・中学校に通った場合、九年間で一人当たり約八百万円以上の税金が使われていることが分かり、思わず声を上げて驚いた。

この様に、私達の周りには学校で過ごす日常だけでも、知識を得て注意して見てみると、実に多くの税金で支えられていると気付くことができた。恵まれた環境で学習できるのも、一生懸命働いた中から納めてくれた、大切な税があることを忘れてはいけないと思った。中学生の私にとって、直接払っている税と言えは消費税だが、人々が支え合い生活する上で、税は必要不可欠である。そこで他にも何かできることはないだろうか考えた。

私は今生徒会本部で活動している。私の学校では生徒会が主催し、放課後に普段なかなかできない場所を念入りに掃除する活動に力を入れ、生徒が自主的に学校や通学路の美化に努めている。税金によって建てられた公共施設を少しでも長くきれいに維持することも、私達中学生にできる納税者の方に感謝を表すことや、ものを大事に使う精神に繋がると考えられる。ぜひ今後も引き継いでいきたい。

ふと、窓の外を見てほしい。温かな税によって作られた当たり前の日常や、輝かしい社会が広がっていることを実感できるだろう。

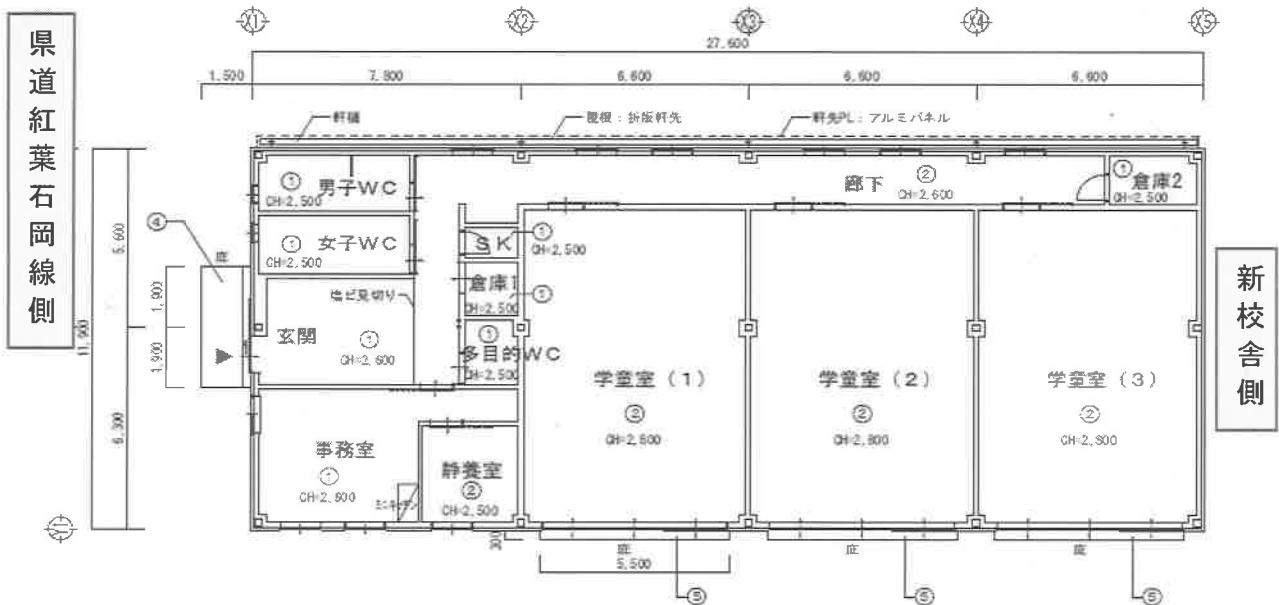
小川北義務教育学校放課後児童クラブ配置図



現在、野田小学校、上吉影小学校、下吉影小学校の敷地内で実施している放課後児童クラブについて、令和4年度の小川北義務教育学校開校に合わせて、放課後児童クラブも隣接地に統合し、利用者の利便性の向上を図ります。

鉄骨造平屋建

敷地面積 912.87㎡
 建築面積 330.34㎡
 延べ面積 328.44㎡



主な設備

- | | | |
|--------|--------|------|
| 学童室 1 | 66.66㎡ | 倉庫 1 |
| 学童室 2 | 66.66㎡ | 倉庫 2 |
| 学童室 3 | 66.66㎡ | 玄関 |
| 事務室 | 25.21㎡ | 廊下 |
| 静養室 | 9.50㎡ | 流し |
| 多目的トイレ | | ほか |
| 男子トイレ | | |
| 女子トイレ | | |

スクールバス乗降所の車両動線及び運行時刻について

当日配布4

貝谷公民館
登7:23 下15:37/16:27



南原公民館
登7:28 下15:32/16:22



下吉影古新田公民館
登7:33 下15:27/16:17



荒地公民館
登7:27 下15:33/16:23



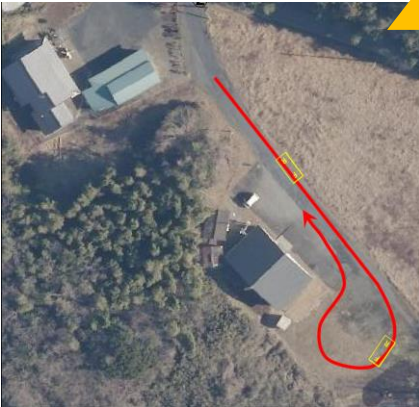
前野公民館
登7:33 下15:27/16:17



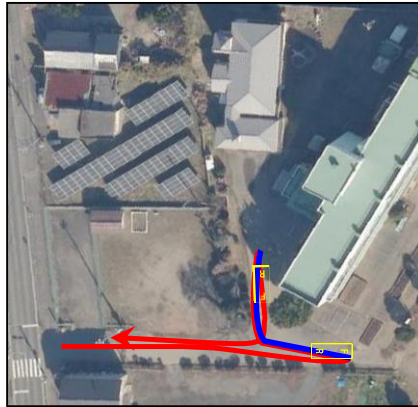
下吉影官舎
登7:38 下15:22/16:12



前原公民館
登7:38 下15:22/16:12



上吉影小学校
登7:41 下15:16/16:06



飯前地区乗降所
登7:44 下15:16/16:06



世楽地区コミュニティセンター
登7:35 下15:25/16:15



佐才地区コミュニティセンター
登7:42 下15:18/16:08



●学校の発着予定時刻（全便）

<登校> 7:50着
<下校> 1便 15:10発
2便 16:00発

●整備中，整備予定の乗降所
荒地，前原，飯前，佐才